

めぶきアセアンレポート

MEBUKI ASEAN REPORT

2020年11月号

- ◇ 【 ハノイ通信 】～対ベトナム外国直接投資（FDI）の動向～ P. 1
- ◇ 【 フィリピン通信 】～有名観光地が国内旅行者の受け入れを再開しました！～ . . . P. 3
- ◇ 【 アセアン駐在員コラム 】 P. 4
- ◇ 【 アセアン各国株式市場・為替情報 】2020年10月の動き P. 6
- ◇ 【 アセアン各国ニューストピックス 】 P. 7
- ◇ 【 アセアン・インド休日情報 】2020年11月～2021年1月 P. 8
- ◇ 【 めぶきアジアネットワークのご紹介 】 P. 9

常陽銀行シンガポール駐在員事務所

63 Market Street #11-03
Bank of Singapore Centre,
Singapore 048942
TEL:65-6225-6543

常陽銀行ハノイ駐在員事務所

5th Floor, Sun Red River,
23 Phan Chu Trinh Street,
Hoan Kiem District, Hanoi, Vietnam
TEL:84-24-3218-1668

足利銀行バンコク駐在員事務所

689, Bhiraj Tower at EmQuartier,
27th Floor, Room No. 2714,
Sukhumvit Road, Klongton-nue, Wattana,
Bangkok 10110, Thailand
TEL:66-2-261-2852

本レポートの内容につきましては、当行の信頼し得る先からの情報に基づいて作成しておりますが、その正確性、信頼性を保証するものではありません。具体的に法律上、会計上、税務上の助言を必要とされる場合は、それぞれの専門家にご相談くださいますようお願い致します。



ハノイ通信～対ベトナム外国直接投資（FDI）の動向～

対ベトナムの外国直接投資（以下：FDI）は、コロナ禍の影響により直近では減少しているものの、引続き海外各国から有望な投資先として注目を集めています。今回は対ベトナムのFDI動向についてレポートします。

1. コロナ禍の影響によりFDIは鈍化

(1) 国別認可状況

2020年9月時点における対ベトナムFDIは、認可件数（新規案件+拡張案件）が2,745件（前年同期比27.7%）とタイを除き前年同期比で大きく減少しています。一方、認可額については、シンガポールの液化天然ガス（LNG）発電所やタイの石油化学コンビナート建設などの大型投資が寄与し、前年同期比微減で推移しています。

【FDI国別認可状況(2020年9月時点) 単位:百万米ドル、%】

国・地域	新規		拡張		合計			
	件数	認可額	件数	認可額	件数	前年同期比	認可額	前年同期比
①シンガポール	173	4,625.4	62	548.2	235	▲ 10.0	5,173.6	192.3
②韓国	499	1,076.6	246	1,318.7	745	▲ 36.0	2,395.3	▲ 27.2
③タイ	27	184.4	16	1,380.8	43	2.4	1,565.2	198.7
④中国	271	1,079.7	98	449.8	369	▲ 38.0	1,529.5	▲ 38.7
⑤香港	168	876.1	69	187.5	237	▲ 18.6	1,063.6	▲ 39.2
⑥台湾	94	852.4	63	180.4	157	▲ 7.6	1,032.8	51.7
⑦日本	209	463.2	100	354.9	309	▲ 38.4	818.1	▲ 68.0
合計(他、国・地域を含む)	1,947	10,360.4	798	5,116.1	2,745	▲ 27.7	15,476.5	▲ 1.8

(2) 業種別認可状況

(出所:ベトナム外国投資庁)

対ベトナムのFDI認可状況を業種別に見ると、風力発電などの大型発電事業への投資が進む「電気・ガス・水道」部門は、前年同期比で認可額・認可件数ともに増加していますが、他業種は総じて減少しています。

【FDI業種別認可状況(2020年9月時点) 単位:百万米ドル、%】

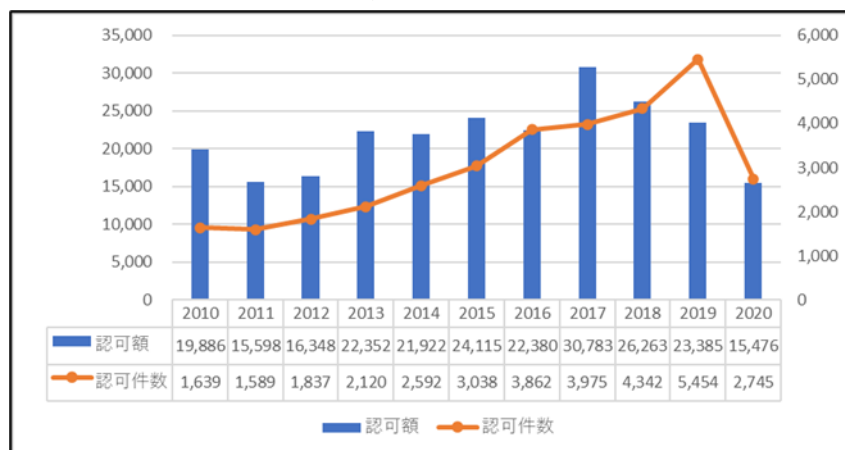
業種	新規		拡張		合計			
	件数	認可額	件数	認可額	件数	前年同期比	認可額	前年同期比
①加工・製造	614	4,712.9	487	3,646.3	1,101	▲ 30.1	8,359.2	▲ 32.5
②電気・水道・ガス	10	4,337.5	4	▲ 118.8	14	7.7	4,218.7	863.2
③不動産	56	560.0	22	1,127.9	78	▲ 25.0	1,687.9	58.9
④小売り・卸売り	563	345.5	105	158.3	668	▲ 26.8	503.8	▲ 3.9
⑤コンサル等	266	120.9	57	48.5	323	▲ 25.9	169.4	▲ 57.1
⑥建設	65	47.9	23	54.1	88	▲ 38.9	102.0	▲ 62.4
⑦ホテル・飲食サービス	47	64.1	13	27.5	60	▲ 37.5	91.6	239.3
合計(他業種を含む)	1,947	10,360.4	798	5,116.1	2,745	▲ 27.7	15,476.5	▲ 1.8

(出所:ベトナム外国投資庁)

(3) FDI認可状況の推移

2020年は、新型コロナウイルスの感染拡大により世界経済が大きく減速しています。世界規模での経済停滞は、年平均約7%と高い経済成長率を記録していたベトナム経済にも大きな影響を与えました。ベトナムのFDI認可件数は2012年以降、増加傾向でしたが、2020年のFDI認可件数は新型コロナウイルスの影響により前年対比で減少が予想されています。

【FDI認可額・認可件数推移 単位：百万ドル、件 ※2020年は9月時点の数値】



(出所：ベトナム外国投資庁)

(4) 日本からのFDIの動向

日本からベトナムへのFDI認可件数は、【日本の直接投資額推移（業種別） 単位：億円】

2018年に過去最多を記録するなど、引き続き日系企業から注目される投資先となっています。新規案件を業種別にみると、主要な産業の構成比は、世界からの投資と比較すると、日本は「製造」部門の割合が低く、「卸・小売」や「コンサル」等「非製造」部門の割合が高くなっています。日系企業がベトナムへ投資するメリットとして、「市場規模・成長性」を挙げる企業も多く、製造業の輸出拠点としてだけでなく、製品やサービスを販売・提供する市場としても注目度が高まっています。

業種/年	2016	2017	2018	2019	2020 (第20まで)
製造業計	1,499	1,660	1,793	1,652	825
食料品	88	114	123	94	81
繊維	3	0	8	12	5
木材・パルプ	16	17	18	20	18
化学・医薬	32	57	44	43	23
ゴム・皮革	7	9	9	15	12
鉄・非鉄・金属	78	113	113	130	12
一般機械器具	61	65	64	76	35
電気機械器具	180	232	219	205	159
輸送機械器具	837	887	984	892	434
精密機械器具	127	128	232	163	44
非製造業計	274	298	372	313	218
建設業	1	6	1	1	-1
運輸業	7	9	12	6	16
卸・小売業	48	53	53	51	16
金融・保険業	197	231	272	244	166
不動産業	4	-8	23	1	16
サービス業	4	-1	5	3	0

(出所：日本銀行国際収支統計)

2. おわりに

ベトナムでは、3月～4月にかけての「第一波」、7月末～8月にかけての「第二波」と、新型コロナウイルスの感染被害が拡大したことから、社会隔離措置が敷かれ経済活動は一時停滞しました。しかし、新型コロナウイルス感染拡大による影響を最小限に食い止めたことで、近隣諸国の中ではいち早く経済活動を再開させることが出来ました。

今年に限れば、FDIの認可件数・認可額ともに昨年度対比減少していますが、潜在的な経済成長率の高さや安定した政治情勢から、投資対象国として有望であることに変わりありません。今回のコロナ禍での危機対応に対する世界的評価も相まって、今後更にベトナムへの投資増加が期待されます。

以上

【常陽銀行ハノイ駐在員事務所 駐在員 安彦 秀紀】

フィリピン通信～有名観光地が国内旅行者の受け入れを再開しました！～

新型コロナウイルスの感染対策で閉鎖状態にあった有名観光地が、10月1日から国内旅行者に限定した受け入れを再開しました。同時に外出・移動制限が緩和されたことから、観光地への往来が復活することが期待され、各観光地のPR活動も盛り上がりを見せています。

1. 各観光地の取組み・動向

観光地によって必要な手続きや条件が異なりますが、殆どの観光地ではPCR陰性証明の取得に加え、自治体からの許可証取得や追跡アプリのダウンロード・登録などが求められています。人の移動が増えれば感染が再拡大し、厳格規制に逆戻りする恐れもあるため、観光再興と感染対策の両立に向けた取り組みが課題となっています。

主な観光地	旅行前に必要な手続き	その他
ボラカイ島（アクラン州） ※マニラから飛行機で1時間	・出発前3日以内のPCR陰性証明 ・追跡アプリの登録	・一日の旅行者受入：200人 ・観光省認可ホテルのみ利用可
バギオ市（ベンゲット州） ※マニラから車で5時間	・PCR陰性証明 ・自治体からの許可証	・同伴者2名まで ・観光省認可ホテルのみ利用可

2. 観光再開に伴う各事業者の変化と課題

観光地の受け入れ再開に伴い、鉄道は乗車定員数を引き上げ、フィリピン航空は増便など、各交通機関はこれまで実施していた規制を緩和しています。フィリピンには、日系旅行代理店、日系資本の入ったホテルなど数多く存在しているため、提携している日系のツアー会社・ハイヤー会社・飲食事業者・卸売事業者など、多くの日系企業の業績回復につながっていくことが期待されています。

一方、国内旅行再開から約1か月経過しましたが、旅行者の往来が十分に回復しているとは言えない状況が続いています。その一因として、これまでのフィリピンの観光政策が、外国人旅行者の誘致に重点を置いてきたため、主要都市間を結ぶ交通網（空港・高速）は存在しても、地方都市からのアクセスは依然整備されていないことがあげられます。政府と自治体は、国内旅行を活性化させるべく、レンタカーの貸し出しや国内姉妹都市間の旅行であれば、安価なプランを提供するなど、多くの施策を模索中です。

【観光客の受け入れに向けて準備をすすめるホテル】

3. おわりに

米誌フォーブスは、新型コロナウイルスのパンデミックが収束した後、旅行者の大きな関心を集める「有望」な観光地として、フィリピンを挙げるなど、同国の観光再開に対する国内外の期待は大きいと感じます。今後同国の経済再興と感染対策の両立に向けた取り組みに注目していきたいと思います。以上



（筆者撮影）

【BDO ユニバンク マニラ駐在 鶴見 圭史】

アセアン駐在員コラム

アセアン駐在員コラムでは、東南アジア各国で生活している駐在員や現地スタッフからの情報を発信しています。



【シンガポール】～外国人旅行者の入国規制を緩和～

現在シンガポールでは、国境再開による経済立て直しを図っています。日本や中国など6ヶ国とは、重要な公務やビジネス目的の短期出張時に、一定の条件下で隔離を免除する「ビジネストラック」を設定しています。また、観光客を含む旅行者に短期滞在を認める「エア・トラベル・パス」(ATP)の発行対象国には、ベトナム・中国など5ヶ国が適用されています。ATPでは、PCR検査、追跡アプリの導入により、陰性結果通知後の行動制限のない外出が認められます。

さらに10月15日には、香港と初めて「トラベルバブル協定」を合意しました。これにより両国間の自由往来が可能になります。11月末からトラベルバブル専用の直行便が投入される見通しで、観光業中心に期待感が高まっています。現在、日本への自由往来はできませんが、一日も早く往来できる日が来ることを楽しみにしています。

(常陽銀行シンガポール駐在員事務所 現地スタッフ 関 順)

【閑散としたチャンギ空港】



(筆者撮影)



【ベトナム】～環境に優しい「米粉ストロー」～


ハノイ市内のスーパーマーケットを訪れた際、日本ではなかなか見かけないストローが販売されていたのでご紹介します。陳列されたストローは黒や緑など様々な色がありましたが、原料はなんと「米粉」です。水やお湯に浸しても1時間以上使用可能で、食べることもできます。ベトナムは世界第5位の米生産量を誇っており、このストローは米の一大生産地である特性を生かしたベトナムならではの商品です。ベトナムはここ数年、環境汚染が深刻化しており、特に工場や家庭から出る廃棄物やゴミ処理も大きな問題となっています。今まではプラスチックストローが使用されていましたが、最近では、米粉だけでなく竹製や紙製など環境に配慮されたストローが増えています。このような取組みは日本も見習うべき点だと思いますし、今後更にベトナム国民一人一人の環境問題に対する関心が高まることを期待しています。

(常陽銀行ハノイ駐在員事務所 現地スタッフ グェン ティ トゥイ)

【米粉ストロー売り場】



(筆者撮影)


【タイ】～タイの大学の卒業式～

タイの大学では9月から11月が卒業式のシーズンとなります。国立大学の卒業式では来賓に王族を迎え、1人ずつ直接王族から卒業証書の授与が行われるため、卒業式はタイの学生にとって記念すべき重要なイベントです。

大学の授業年度は8月から始まり翌年5月に終了することが一般的ですので、新社会人となった卒業生は、予行演習や卒業式本番に参加するため、仕事を休むこともあります。

当日は卒業式専用のガウンの衣装を身にまとい、家族や親戚、友人などを招待し、賑やかな祝賀ムードのなか記念撮影を楽しみます。個別に専属のカメラマンを依頼する人も多く、日本の卒業式と比べて更に盛大な印象です。

(足利銀行バンコク駐在員事務所 駐在員 塚本 修平)

【タイの大学の卒業式の様子】

(筆者撮影)

**【フィリピン】～ストリートアート～**

最近フィリピンでは、新型コロナウイルス感染対策の対応に追われる医療従事者に対し、敬意と感謝を伝えるべく様々な活動が行われています。その中でも今回ご紹介するのは、「ストリートアート」です。ストリートアートとは、街中の壁・建物にペンキなどで描かれた絵のことです。マニラの大学で絵画を専攻するアラナさん(20歳)は、「医療従事者の方たちを応援したい」という思いから、周辺の住人や自治体に直談判し、病院近くの外壁を選びました。日本でも医療従事者へ感謝を伝えるべく様々な活動が行われている

と思います。国や文化は異なっても、抱く感情は皆同じであると感じました。ちなみにアラナさんが書いたこの絵は、コロナウイルスが収束したら白に塗り直すとのこと。一日でも早く真っ白な外壁になることを祈るばかりです。

(BDO ユニバンク マニラ駐在 鶴見 圭史)

【壁に絵を描くマニラの大学生】

(筆者撮影)

アセアン各国株式市場・為替情報（10月）

アセアンの株式・為替市場の動向について（10月）

国	株式市場				為替市場			
	株価指数	月末株価	月間騰落額	月間騰落率	通貨単位	月末為替レート (円)	月間騰落額	月間騰落率
シンガポール	ST指数	2,423.84	▲42.78	▲1.73%	1シンガポールドル	76.61	▲0.65	▲0.84%
マレーシア	KLCI総合指数	1,466.89	▲37.93	▲2.52%	1リンギット	25.12	▲0.30	▲1.16%
タイ	SET指数	1,194.95	▲42.09	▲3.40%	1バーツ	3.36	0.02	0.67%
フィリピン	フィリピン総合指数	6,324.00	459.77	7.84%	1ペソ	2.15	▲0.02	▲1.03%
インドネシア	ジャカルタ総合指数	5,128.23	258.19	5.30%	100ルピア	0.71	0.00	0.51%
インド	SENSEX指数	39,614.07	1,546.14	4.06%	1ルピー	1.41	▲0.02	▲1.18%

出所：Bloomberg

【株式市場】

- **シンガポール**： 欧米の感染再拡大など外部環境の不透明感が高まり月末に急落

上旬は、米国の追加経済対策への期待が高まったことと、トランプ大統領の容体が快方に向かった事が市場の安心感となり上昇。下旬になり、欧米での感染者急増が嫌気され下落。さらに米追加経済対策の期待が後退したことにより、シンガポール ST 指数は続落し前月比▲1.73%で取引を終了した。
- **マレーシア**： 政局混乱や感染再拡大を嫌気し下落基調で推移

国内のロックダウンに対する警戒感と原油価格の急落により下落も、値ごろ感のある銘柄が買われるなどして反発。中旬以降は、世界経済の先行き不透明感や政局の混乱から指数は下落。非常事態宣言が却下されるなど指数を下支えするも、欧米の感染再拡大からマレーシア KLCI 指数を押し下げ前月比▲2.52%で取引終了。
- **タイ**： 反政府運動の激化を嫌気し、売り優勢で展開

原油価格の上昇や景気刺激策を好感し上昇も、反政府運動の拡大が投資家心理を冷やし反落。政府がデモ対策を講じるも、反政府運動は収まらず売り材料となる。反政府運動激化への懸念が高まったことや欧米の感染再拡大懸念から売り優勢で展開し、タイ SET 指数は前月比▲3.40%で取引を終了した。
- **フィリピン**： 外部要因により不透明も、行動制限緩和を好感

新型コロナの影響による輸出の不振や経済対策の遅れが嫌気され下落。欧米の感染再拡大により投資家心理が悪化し続落。その後、国内の行動制限の緩和が好感され急反発するも、利益確定売りに押され下落した。フィリピン総合指数は前月比7.84%で取引を終了。
- **インドネシア**： オムニバス法可決による期待感も、感染再拡大を懸念

米追加経済対策を好感する流れを引き継ぎ上昇基調で推移。6日、雇用創出オムニバス法の可決で経済回復の期待が高まり続伸した。中旬には中銀の緩和方針が発表され買い材料となる。依然国内感染者が増加傾向にあることや欧米の再拡大懸念から上値は限定的となり、ジャカルタ総合株価指数は前月比5.30%で取引を終了。
- **インド**： 新規感染者数の抑制により投資家心理改善、連日の大幅高

米国追加経済対策への期待感や国内経済活動の制限緩和により投資家心理が改善し、上旬は上昇基調で推移し、2月以来の40,000pt台を回復。15日に米追加経済対策期待の後退や欧米の感染再拡大を受け急落。企業の好決算を受け持ち直すも月末にかけ下落し、インド SENSEX 指数は前月比4.06%で取引を終了した。

【常陽銀行シンガポール駐在員事務所 駐在員 関 貴弘】

アセアン各国ニューストピックス

◎経済

- シンガポール
 - ・7～9月期の成長率7%減 3四半期連続縮小、今後は回復か (10/15)
 - ・政労使がさらなる減給で合意 雇用維持へ、賃金制度導入勧告も (10/19)
 - ・9月の製造業生産高24%上昇 約9年ぶり高水準、バイオ医療好調 (10/27)
- マレーシア
 - ・首都圏で条件付き制限令開始 企業に混乱なし、小売業界は打撃 (10/15)
 - ・コロナ対策に計17億リング、追加支出も視野 (10/21)
 - ・上半期の製造業FDI、中国から32件認可 (10/23)
- タイ
 - ・消費者心理、5ヶ月ぶり悪化 政情不安の高まりが懸念材料に (10/14)
 - ・9月の産業景況感85.2、5ヶ月連続上昇 (10/20)
 - ・CO2排出量の記録義務化、年内に法案提出 (10/22)
- インドネシア
 - ・雇用創出オムニバス法案可決 投資環境改善に期待、労組は反発 (10/7)
 - ・コロナ禍の失業1300万人も 通貨危機・リーマン後超える影響 (10/23)
 - ・来年の州最低賃金、据え置きへ (10/27)
- フィリピン
 - ・M&A規制緩和、競争委がガイドライン (10/7)
 - ・国際収支予測、81億ドルの黒字へ上方修正 (10/16)
- ベトナム
 - ・25年までの中期公共投資計画、総額12.5兆円 (10/5)
 - ・15～20年の輸出伸び年12%、黒字目標上回る (10/29)
 - ・10月の新規企業、0.2%増の1万2205社 (10/30)

◎その他

- シンガポール
 - ・「トラベルバブル」で経済復興 政府方針、企業は期待と不安 (10/9)
 - ・制限解除の第3期に向け行程表 早ければ年内、対策徹底条件に (10/21)
 - ・日本含む9ヶ国の渡航者、自宅待機可能に (10/28)
- マレーシア
 - ・新規感染、3日連続で800人超 急増はサバ州の未処理分追加が一因 (10/26)
 - ・コロナ禍で飲食店に閑古鳥 影響全国へ、回復は来年以降か (10/30)
- タイ
 - ・ジェトロの食品ウェブ商談会、134社が出品 (10/5)
 - ・外国人観光客の受け入れ再開 7ヶ月ぶり、上海から約40人到着 (10/22)
 - ・反体制デモ、膠着状態続く 首相辞任拒否、臨時国会で議論へ (10/26)
- インドネシア
 - ・ジャカルタでデモ暴徒化、催涙弾使用し鎮圧 (10/14)
 - ・新型コロナ感染者、再び東南アジア最多に (10/16)
- フィリピン
 - ・出稼ぎ者の帰国20万人超に 財政負担増す、送金は持ち直し (10/7)
 - ・ビジネス目的の入国一部解禁 来月1日から、特区企業などに (10/26)
- ベトナム
 - ・ベトナム中部で水害、18人死亡 (10/13)
 - ・米長官がベトナム訪問へ、対中国で連携強化 (10/30)

(出所：各種新聞、雑誌)

アセアン・インド休日情報

2020年11月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
CD PH MM	CD PH MM	JP				
8	9	10	11	12	13	14
	CD					SG MY
15	16	17	18	19	20	21
	ID					
22	23	24	25	26	27	28
	JP				MM	MM
29	30					
MM	ID PH MM					

2020年12月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
						TH
6	7	8	9	10	11	12
	TH	PH	MM	TH		
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	IN ID MM	26
				PH	MY SG PH	
27	28	29	30	31		
			PH	TH PH MM		

2021年1月

日	月	火	水	木	金	土
					CD SG VN PH	2
					IN 1 MM	
					ID MY JP TH	
3	4	5	6	7	8	9
	MM			CD		
10	11	12	13	14	15	16
	JP		MM			
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
		ID		MY		
31						

※ナショナルホリデーのみ掲載
※祝祭日名省略

出典: ジェトロ各国情報等

- JP 日本
- MY マレーシア
- TH タイ
- SG シンガポール
- PH フィリピン
- VN ベトナム
- IN インドネシア
- MM ミャンマー
- ID インド
- CD カンボジア

めぶきFGアジアネットワーク

お客様の海外進出をサポートするため、様々な機関や外国銀行と業務提携を結び、支援体制の強化を進めています。

◎業務提携先一覧

提携先	常陽	足利	主な業務内容
中国銀行（中国）	●	●	中国国内情報の提供および各種金融サービスの提供
交通銀行（中国）	●		
中国信託商業銀行（台湾）	●		台湾情報の提供および各種金融サービスの提供
カシコン銀行（タイ）	●	●	タイ国内情報の提供および各種金融サービスの提供
バンコック銀行（タイ）	●		
バンクネガラインドネシア （インドネシア）	●		インドネシア国内情報の提供および各種金融サービスの提供
CIMB ニアガ銀行 （インドネシア）		●	
ヴィエティンバンク （ベトナム）	●		ベトナム国内情報の提供および各種金融サービスの提供
ベトコム銀行（ベトナム）	●	●	
ベトナム外国投資庁 （ベトナム）	●		ベトナム関連セミナーの開催協力 ベトナム進出に関する各種支援、投資関連情報の提供
BDO ユニバンク（フィリピン）	●		フィリピン国内情報の提供および各種金融サービスの提供
メトロポリタン銀行 （フィリピン）		●	
インドステイト銀行 （インド）	●	●	インド国内情報の提供および各種金融サービスの提供
バナメックス（メキシコ）	●	●	メキシコ国内情報の提供および各種金融サービスの提供
アグアスカリエンテス州政府ほか（メキシコ）	●	●	メキシコに関する現地市場調査 投資情報の提供
日本貿易振興機構（JETRO）	●	●	海外事業展開や各国制度等に関する各種情報提供
国際協力機構（JICA）	●	●	途上国での海外事業展開や各国制度等に関する各種情報提供
国際協力銀行（JBIC）	●		海外展開支援融資の提供
日本貿易保険（NEXI）	●	●	輸出取引を行う際の海外取引リスクに備える各種貿易保険の提供
中小企業基盤整備機構		●	海外事業展開や各国制度等に関する各種情報提供
東京海上日動火災保険	●	●	海外リスク情報等の提供
損保ジャパン日本興亜	●	●	リスクマネジメントコンサルティングサービスの提供
三井住友海上火災保険	●	●	各種損害保険の提供
セコム	●		海外での安全システム・防犯危機商品の提供
総合警備保障	●		海外セキュリティサービスの提供

◎めぶきFG海外駐在員事務所

常陽銀行シンガポール駐在員事務所	63 Market Street, #11-03 Bank of Singapore Centre Singapore 048942 TEL:+65-6225-6543
常陽銀行ハノイ駐在員事務所	5th Floor, Sun Red River, 23 Phan Chu Trinh Street, Hoan Kiem District, Hanoi, Vietnam TEL:+84-24-3218-1668
常陽銀行上海駐在員事務所	上海市延安西路 2201 号 上海国際貿易中心 1901 室 TEL:+86-21-6209-0258
常陽銀行ニューヨーク駐在員事務所	712 Fifth Avenue, 8th Floor, New York, NY 10019 TEL:+1-347-686-8420
足利銀行香港駐在員事務所	Suite 1601, 16th Floor, Tower 2, The Gateway, Harbour City, Kowloon, Hong Kong TEL:+852-2251-9475
足利銀行バンコク駐在員事務所	689, Bhiraj Tower at Emquartier, 27th Floor, Room No.2714, Sukhumvit Road, Klongton-nue, Wattana, Bangkok, Thailand 10110 TEL:+66-2-261-2852

